

令和5年度第2回三重津海軍所跡保存整備指導委員会 議事録

◎日時：令和6年2月6日（火）14：00～：15：00

◎場所：佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館 多目的室

◎参加者：

【委員】

有馬会長、渡辺副会長、安達委員（リモート）、中村委員、本多委員、富田委員

※欠席：今津委員、内田委員

【助言者】

内閣官房産業遺産の世界遺産登録推進室、佐賀県文化課文化財保護・活用室

※欠席：文化庁文化資源活用課

【所有者】

筑後川河川事務所

※欠席：有明海沿岸国道事務所、佐賀県有明海漁業協同組合

【オブザーバー】

筑後川河川事務所諸富出張所

佐賀県立佐賀城本丸歴史館

佐賀県文化課

※欠席：佐賀国道事務所

【庁内関係課】

佐賀市南部建設事務所

佐賀市水産振興課

佐賀市歴史・文化課

【事務局】

佐賀市文化財課

◎出席者紹介

委員会出席者名簿で紹介

◎会長挨拶

皆さんこんにちは。

この委員会もそろそろ三重津海軍所跡の整備について、最終的な形を具体的に示すという段階に入ってきております。これから確定していくものによって、実際に市民の皆さん、お客様がここに見えて、どう感じるのか。良いものを見たなあと思っていただけるのか、それとも何だこれと思われるのか、というところが決まってくるのだらうと思います。そういう意味で、きちんと気を引き締めて議論をしていただきたいというふうに思います。

◎議事

(1) 第1回委員会での主な意見と対応方針について

【資料説明】

「資料1-1・1-2」により説明。

【質疑応答】

特になし。

(2) 地下水モニタリングの状況について

【資料説明】

「資料2」により、現在までの観測結果を説明。

【質疑応答】

会 長： 地下水のモニタリングについては、地下遺構の保存に直接関わる問題なので、当初から今津委員の御指導のもと継続的に、また可能な限り水位や水質の観察を心がけてきたところである。素人にはわからないが、おおむね、安定の方向に進んでいるということであろうかと思う。地下水モニタリングの状況については、ただいまの説明で御了解いただいたものとして進める。

(3) 砂利舗装試験施工の状況について

【資料説明】

「資料3」により、これまでの観測結果を説明。

【質疑応答】

委 員： 約1年間モニタリングされたということだが、その途中で河川敷が水に浸かったこと、台風など、そういったことはあったのか。

事務局： この1年間は河川敷水に浸かっていない。そのため、本当に浸かった時にどうなるかというのは確認出来ていない。

委 員： 了解した。

会 長： 一番重視されているのは透水性の問題だろうと思うが、それと直接関わるかどうかわからないけども、これは写真のせいだろうか、例えば一番上の写真と、10月・11月の写真と、ごく最近の写真と、表面の砂利の密度が違うように見える。これは無視して構わない違いだろうか。

事務局： 恐らく写真の撮り方かと思う。砂利の密度的に関しては、これまでの観察結果から全然問題ない。ただ、写真上で草が砂利舗装を覆っているような感じに見える写真、11月のあたりがそう見えるかと思うが、これは公園内の草刈りをした草が上に被っているだけである。できるだけ掃ったけども、なかなか掃えないという状況であっただけで、砂利舗装内から雑草が生えてきたりすることもないし、砂利の密度も問題ない。

会 長： 了解した。それではこの砂利舗装の試験施工について、状況を御確認いただいたということで、この施工方法で以後進めていただきたいと思う。

(4) 追加指定地内での発掘調査について

【資料説明】

「資料4」により、調査結果・遺構の平面表示の修正内容を説明。

【質疑応答】

会 長：資料4の2頁にある「三重津御船屋絵図」のラインが基本的にはほぼ正しかったということか。

事務局：その通りである。

(5) 三重津海軍所跡整備（屋外展示）実施設計について

【資料説明】

「資料5」により、三重津海軍所跡屋外展示整備の実実施設計内容を説明。

【質疑応答】

会 長：概ね表示等々を含めて、屋外展示の姿がほぼ固まってきたかなというふうに思う。この内容で進めていただきたい。

委 員：議事(1)の「第1回委員会での主な意見と対応」の中で、船影表示の説明があったが、色については現段階では決まっていないということか。

事務局：船影の色についてはまだ決めていない。その部分については、実際に施工を行う段階で、色について一度委員の方々にお集まりいただいて、色決めができればと考えている。

委 員：おそらく船影の色と周辺の色とのバランスなど、その辺りも含めて考えないといけない。

事務局：そういうことがあると思うので、実際現地にお集まりいただいて、委員の方々の意見をお聞きして決められればと思っている。

委 員：別件の話になるが、今ある施設やゲートボール場など、その辺りの撤去が必要になるのだろうか。その辺りのコストや時間はある程度見込んでいるのか。

事務局：今年度実施設計を固めて、来年度から工事に入る予定にしている。工事する場所は河川敷であり、史跡の範囲でもあるので、来年度の上半期は関係法令の許可手続きをすることになるかと思う。その後、出水期明けの10月からが実際の工事に着手する予定である。

工事は、まず今ある施設を撤去することから始めることとなり、来年度は基盤整備を中心に行う予定。遺構の地表面表示や解説板等の設置は、再来年度になるかと思う。

三重津海軍所跡の屋外展示整備に関しては、来年度から約2か年で完了する計画にしているが、文化庁補助金による整備事業であることから、補助金の配分状況によっては屋外展示整備の完了時期が若干遅れる可能性もあるかもしれない。

会 長：委員の皆様の御協力のおかげで、スムーズに進行することができた。これで、本日予定した議事は全て完了した。進行を事務局にお返すする。

◎閉会

事務局：有馬会長、ありがとうございました。

本年度予定しております委員会は、今回で最後になります。

今後は、三重津海軍所跡屋外展示整備の実施設計の取りまとめ作業を行っていくこととなります。

なお、次年度からは先ほど御説明しましたように、屋外展示整備の工事に取り掛かる予定にしております。

整備工事に際して、委員の皆様から改めて御指導をいただく機会が多々あるかと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

それでは、本日の会議はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。